

かながわあんしん生活支援フォーラム in 川崎

一人でもだいじょうぶ 晴ればれ冬じたく
～ もしもの介護もこれで安心！ ～

日時: **3月12日(月) 14:00～16:40**
(開場 13:30)

会場: **エポック中原 大会議室**

(JR南武線「武蔵中原駅」徒歩1分)

定員: **先着 150名 (当日受付)**

※定員に達した場合、ご入場いただけません
ので、予めご了承ください。

入場無料

手話通訳・要約筆記あり

○ プログラム ○

—14時 開演—

第1部【認知症について】 認知症サポーター養成講座

講師 (川崎市認知症ネットワーク)
柿沼矩子氏・鈴木雅子氏 (代表・副代表)

— 休憩 —

第2部【基調講演】 一人でもだいじょうぶ 晴ればれ冬じたく ～ もしもの介護もこれで安心！ ～

おち とよこ氏 (医療福祉ジャーナリスト)

第3部【座談会】

コーディネーター
阿部 充宏氏 (神奈川県介護支援専門員協会 理事長)

対談者
おち とよこ氏 (医療福祉ジャーナリスト)

対談者
柿沼矩子氏・鈴木雅子氏 (川崎市認知症ネットワーク
代表・副代表)

基調講演講師

医療福祉ジャーナリスト

おち とよこ氏



※会場へは公共交通機関でお越しください

会場: **エポックなかはら**

交通: JR南武線「武蔵中原駅」徒歩1分
(川崎市中原区上小田中 6-22-5)



主催: 神奈川県 (平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業)
(平成23年度 神奈川県立 平塚ろう学校 地域活性化コミュニケーション推進事業)

共催: 川崎市

後援: 公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部
特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会
ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区
毎日新聞社横浜支局

協賛: エーザイ株式会社 / ファイザー株式会社

認知症サポーター100万人キャラバン



お問い合わせ:

平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業 運営事務局
(株)コモンズ 21 研究所 TEL 045(752)0211 FAX 045(752)0242

かながわあんしん生活支援フォーラム in 川崎 出演者プロフィール

●**基調講演講師：おちとよこ 氏**（医療福祉ジャーナリスト）

札幌市生まれ。横浜市在住。高齢者介護、医療、福祉など家庭や女性問題に関するテーマを中心に、雑誌、新聞、テレビなどで活躍。自身も両親を16年間介護した経験がある。国・自治体の委員も歴任。

主な著書に、『一人でもだいじょうぶ 晴ればれ冬じたく』『一人でもだいじょうぶ 親の介護から看取りまで』（日本評論社）、『入院・介護SOS』『介護保険上手に使うカシゴころ』（創元社）、『現役世代のための介護手帖』（平凡社新書）、『シングル介護』（NHK生活人新書）ほか多数。また認知症をテーマにした絵本『おばあちゃんのさがしもの』（岩崎書店）など、絵本も多数執筆。新刊『私の生き方整理帖 ～もしものときの覚書付き～』を日本評論社より1月下旬に上梓。

●**コーディネーター：阿部 充宏 氏**（神奈川県介護支援専門員協会 理事長）

平成2年に社会福祉法人 泉心会 に入職。介護職、相談職、介護支援専門員、事業部長。平成18年に社会福祉法人 いきいき福祉会 事業部長 就任。平成19年に同法人の 特別養護老人ホーム ラポール藤沢 施設長に就任、社会福祉法人 いきいき福祉会 理事 に就任。

その他、主な活動として、平成21年に特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会 理事長に就任。また、平成21年より 国際医療福祉大学非常勤講師も務めている。主たる資格は、社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員。神奈川県介護支援専門員協会編集による『オリジナル様式から考えるケアマネジメント実践』（中央法規出版）等の図書に、主たる執筆者として携わっている。

●**対談者：柿沼 矩子 氏**（川崎市認知症ネットワーク 代表）

昭和48年から父親の介護に関わり平成7年に看取る。現在94歳の母親を介護中。

昭和59年に聖マリアンナ医科大学病院で家族会「水曜会」、昭和63年に麻生区で家族会「はなみずきの会」を、家族仲間と立ち上げる。平成8年、認知症の人も家族も、一人の人間として、社会人として共に暮らす社会を目指し、「川崎市認知症ネットワーク」を市内全域の家族会やボランティア等市民グループとともに設立。現在、同ネットワークの活動として、川崎市認知症コールセンター「サポート・ほっと」や若年性認知症グループ「どんどん」、男性介護者の集い、見守り隊等の多様なサポート活動や、劇団SOS、語り部隊、認知症キャラバン・メイト※としての講演等の啓発活動に取り組んでいる。

平成20年から川崎市認知症キャラバン・メイト連絡協議会 運営委員長、平成22年からNPO法人 川崎市認知症ピアサポートセンター 理事長。

●**対談者：鈴木 雅子 氏**（川崎市認知症ネットワーク 副代表）

平成3年から義母の介護に関わり、平成15年に看取る。

平成6年「宮前すみれの会」に保健師のすすめで参加し、現在、同会代表を務める。

平成8年に「川崎市認知症ネットワーク」の呼びかけに賛同し、「宮前すみれの会」として参加、現副代表。

平成20年から川崎市認知症キャラバン・メイト連絡協議会 運営委員。

※ 認知症キャラバン・メイト：認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「認知症サポーター」を養成する講師役。

